

友森社長  
コンピュータは、出入力、記憶制御のCPU、電源で構成される。この構成は産業機器に使用されるPCでも、産業用PCでも、タコローラーであっても基本的に同じ。各要素の間でデータをやり取りすることで仕事ができるようになる。その意味ではデータをいかに過不足なくの状態でやり取りし、保存できるかが重要で、そこに高信頼性の産業用メモリが求められる。当初はUSBメモリなど、人スミスビットジャバ

**製造業DX時代のデータ活用**

は産業向けに特化したストレージ製品およびセキュリティ製品を提供するメーカーで、特にメモリ・セキュリティを専門とする。ヨーロッパのF.A.機器・産業機器メーカーを中心幅広く採用され、DXの取り組みが進む日本でも活動を強化している。

2019年、半導体メモリ事業から独立した「スミスビット」の半導体メモリ事業を母体とし、2021年にMBOによって独立。本社がスイスにあり、ドイツ・アメリカに開発拠点、ドバイ・ベルリンに製造工場を構えている。当初はUSBメモリなど、人スミスビットジャバ

**国際ロボット展2022**  
かんたんを使いやすいロボット  
需要が急拡大していると言われている工場へのロボットの本格導入は、これまで以上に効果がある。しかし、導入にはロボットを初めて導入する企業や、ロボットとは遠く離れた工場が中心であり、いかに簡単にロボットを導入して使いこなせるかが勝負となる。そうしたニーズに適した協働ロボットや、導入に必要なものをすべてオールインワンでそろえたパッケージ提案や、かんたん＆使えやすさ、初めての導入にロボットを当てる製品も数多く出されている。

IoTとOT、ロボットが統合制御されたDXソリューション  
ロボットは作業を

**開幕**

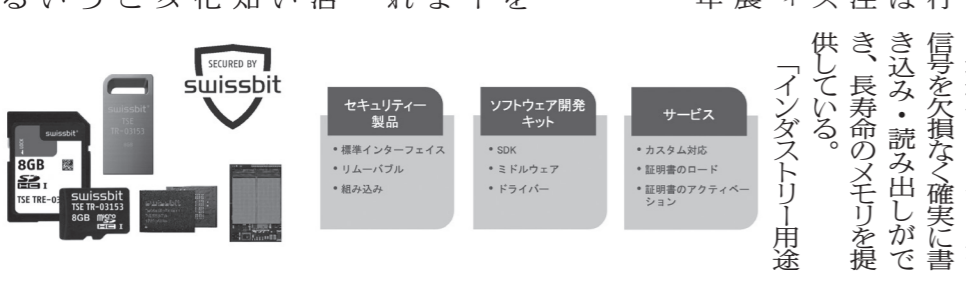
経済が混乱・停滞するなかでも、2021年の日本のロボット産業は過去最高の受注額、輸出額を刷新するなど市場拡大が続いている。これまでも人手不足対策として自動化ニーズは高かったが、コロナ禍でそれがさらに加速している印象だ。そんななかで待望の国際ロボット展2022が開幕した。見どころの注目トレンドを紹介する。(関連特集6~7面)

**人手不足 自動化ニーズ活況**  
見どころ&注目トレンドを紹介

代替し、それ単体で導入するだけでなく、生産性向上に効果がある。しかし、ロボットの本格導入は、これまで以上に効果がある。しかし、導入にはロボットを初めて導入する企業や、ロボットとは遠く離れた工場が中心であり、いかに簡単にロボットを導入して使いこなせるかが勝負となる。そうしたニーズに適した協働ロボットや、導入に必要なものをすべてオールインワンでそろえたパッケージ提案や、かんたん＆使えやすさ、初めての導入にロボットを当てる製品も数多く出されている。

**データ信頼性高める産業用フラッシュメモリ**  
スミスビット 日本市場に浸透へ

データ信頼性が高まる産業用フラッシュメモリ。スミスビットは、産業向けに特化したストレージ製品およびセキュリティ製品を提供するメーカーで、特にメモリ・セキュリティを専門とする。ヨーロッパのF.A.機器・産業機器メーカーを中心幅広く採用され、DXの取り組みが進む日本でも活動を強化している。



**近藤氏が社長昇格** 富士電機

富士電機は、4月1日付で北澤通宏氏が代表取締役社長に昇格し、近藤史郎氏が取締役社長に昇格した。近藤氏は、1966年10月4日生まれ、61歳。84年3月早稲田大学工学部電気工学科卒業。同年4月富士電機製造(現富士電機)入社。2007年7月富士電機アドバンストテクノロジ取締役。13年4月富士電機産業システム事業本部副部長。14年7月同本部産業フロント事業部長。15年4月同本部産業計測機器事業部長。16年4月技術開発本部副部長。17年4月執行役員技術開発部長。20年4月執行役員技術開発部長に昇格した。

**東芝社長に島田氏就任** 島田新社長

東芝は3月1日付で、執行役員技術開発部長に島田新氏が就任した。島田氏は、1966年10月22日生まれ、55歳。90年4月新和工業入社。99年9月新和工業取締役。2010年4月システムPLMソフトウェア部長。15年9月東芝システムズ専務執行役員を経て、18年10月東芝システムズ専務執行役員に昇格した。

**三菱電機 ティーチング不要** 新ロボットシステム開発

三菱電機は、AI技術「Maiser」を活用して、3年以降の製品化を目指す。Maiserは、AI技術を活用して、3年以降の製品化を目指す。Maiserは、AI技術を活用して、3年以降の製品化を目指す。Maiserは、AI技術を活用して、3年以降の製品化を目指す。

**ロボトリテラシーを高める** ロボット導入時には必ず特別教育を受講しよう

ロボトリテラシーを高める。ロボット導入時には必ず特別教育を受講しよう。ロボトリテラシーを高める。ロボット導入時には必ず特別教育を受講しよう。ロボトリテラシーを高める。ロボット導入時には必ず特別教育を受講しよう。

**制御盤内のDC24V電源ラインを安定供給!**

制御盤の電源DC24Vを安定的に供給するためには、課題や目的に合わせてスイッチング電源単体だけでなく、様々なサポート機器を組み合わせなければなりません。世界中のさまざまな電源の経験から生まれたノウハウを凝縮。それが「安心24ソリューション」です。

**ロボトリテラシーを高める** ロボット導入時には必ず特別教育を受講しよう

ロボトリテラシーを高める。ロボット導入時には必ず特別教育を受講しよう。ロボトリテラシーを高める。ロボット導入時には必ず特別教育を受講しよう。ロボトリテラシーを高める。ロボット導入時には必ず特別教育を受講しよう。

**灯台**

灯台。どんな機械や道具も、必ず安全な状態で動作する必要があります。灯台は、安全な状態で動作するために必要な装置です。灯台は、安全な状態で動作するために必要な装置です。

**Phoenix Contact** INSPIRING INNOVATIONS

Phoenix Contactの「安心24ソリューション」を特設サイトでチェック!  
・電源の不具合の正体は○○○○○?  
・不安や課題に最適な製品は?  
・お客様導入事例  
・総合カタログPDFダウンロード  
・超ゆる短編漫画「安心24戦隊 クイントマン」  
詳しくはウェブサイト https://anshin24.phoenix-contact.jp/

**フェニックス・コンタクト株式会社**

横浜支店 東京支店 さいたま支店 東北支店 北陸支店 静岡支店 名古屋支店 大阪支店 京都支店 広島支店 福岡支店  
☎ 045-471-0030 ☎ 03-5835-3885 ☎ 048-631-3371 ☎ 022-226-8890 ☎ 076-210-4360 ☎ 054-202-6324 ☎ 052-589-3810 ☎ 06-6350-2722 ☎ 075-325-5990 ☎ 082-568-1664 ☎ 092-418-2030

**ロボトリテラシーを高める** ロボット導入時には必ず特別教育を受講しよう

ロボトリテラシーを高める。ロボット導入時には必ず特別教育を受講しよう。ロボトリテラシーを高める。ロボット導入時には必ず特別教育を受講しよう。ロボトリテラシーを高める。ロボット導入時には必ず特別教育を受講しよう。

**灯台**

灯台。どんな機械や道具も、必ず安全な状態で動作する必要があります。灯台は、安全な状態で動作するために必要な装置です。灯台は、安全な状態で動作するために必要な装置です。

**Phoenix Contact** INSPIRING INNOVATIONS

Phoenix Contactの「安心24ソリューション」を特設サイトでチェック!  
・電源の不具合の正体は○○○○○?  
・不安や課題に最適な製品は?  
・お客様導入事例  
・総合カタログPDFダウンロード  
・超ゆる短編漫画「安心24戦隊 クイントマン」  
詳しくはウェブサイト https://anshin24.phoenix-contact.jp/

**フェニックス・コンタクト株式会社**

横浜支店 東京支店 さいたま支店 東北支店 北陸支店 静岡支店 名古屋支店 大阪支店 京都支店 広島支店 福岡支店  
☎ 045-471-0030 ☎ 03-5835-3885 ☎ 048-631-3371 ☎ 022-226-8890 ☎ 076-210-4360 ☎ 054-202-6324 ☎ 052-589-3810 ☎ 06-6350-2722 ☎ 075-325-5990 ☎ 082-568-1664 ☎ 092-418-2030











## 日本サポートシステム

茨城県のロボットシステムインテグレーター (SIer) である日本サポートシステム (茨城県土浦市、天野眞也代表取締役兼 CEO) は、「ロボデミー (Robodemy)」と題して学生向けのロボット教室など、ロボット産業の盛り上げに関する教育・普及活動を行っており、そのひとつとして今回、特別教育のオンデマンドサービスを開始した。その狙いについて同社に話を聞いた。



# いつでもどこでもロボットが学べる

## 特別教育のオンデマンドサービス開始

— ロボデミーとは何ですか？

ロボデミーは、当社が行っているロボット産業を盛り上げるための教育や普及活動のことで、学生向けにロボットの課外授業やコンテストの開催や、ロボットとAIや画像処理等と組み合わせた最先端技術の検証やセミナー、ロボットメーカーや他のロボットSIerと共同でロボットシステムのパッケージを企画・設計など、さまざまなことに取り組んでいます。

2020年12月からは産業用ロボットの特別教育も開始し、これまでに300人以上に対して学科・実技の講習を行い、修了証を発行しました。

— 1年半で300人とは多いですね。

ロボットを新たに導入したいという企業は増えていますが、実際にロボットを使った最新の設備を作れる人が足りていないことと、すでにロボットを使っている企業でもロボットの保守・メンテナンスをできる人が減っていることで、それを補うために受講したという人が多くいました。

中小企業では特別教育のことを知らない人が多く、ロボット導入を検討する際に初めてその存在を知り、そこから急いで受講したというお客さまもいました。



### 自分の好きな時間に繰り返し受講できるオンデマンド特別教育

— 学科のオンデマンド特別学習がスタートしました。

当社とユームテクノロジージャパン (東京都渋谷区、松田しゅう平代表取締役) が連携し、産業用ロボットの特別教育のオンデマンドサービスを3月から開始しました。オンラインでの特別教育も増えてきていますが、オンデマンドでは業界初のサービスとなります。

— オンラインとは違うのですか？

オンラインは、リアルな講座を遠隔でリアルタイムに見られるようにしたもので、時間が指定されています。そのため受講者は必ずその時間に参加する必要があります。

あります。

それに対してオンデマンドは、録画してある講座を視聴して受講するものなので、その時間と場所は問いません。朝でも昼でも夜中でも自分の都合の良い時間帯と場所で受講できます。休み時間に数十分だけ見て、続きは後で見るといったこともできます。すき間時間に視聴を重ね、修了するために必要な法定時間をクリアするという方法もよいと思います。

— 自分のペースで受講できるのは嬉しいですね。

メリットはもう一つあり、オンデマンドは巻き戻しができるので、分からないところ、知りたいところを何度も見直すことができます。繰り返し見ることで理解度が深まり、より安全にロボットを動かすことができるようになります。これもオンラインとは異なる点です。

またオンラインの場合、疑問点等を講義の最中や終了後に聞くことができますが、オンデマンドではそれができません。ただオンデマンドでも、実技講座は実機を使って講師と対面で行うことから、その際に聞くことができますので、あまり問題ではありません。

### 現場を知り尽くした講師と主要メーカーのロボットで実技講習

— ほかにも御社の特別教育の特長はありますか？

当社の本業はロボットSIerであり、実際に製造現場でロボットシステムを作り、使ってきた人間が講師を務めています。30年間、ロボットSIerとして培った知見を提供します。

またファナックや安川電機、三菱電機、川崎重工業、セイコーエプソン、デンソーウェーブ、不二越、オムロン、ユニバーサルロボットなど、主要ロボットメーカーの実機を揃えていて、お客様が使っている/検討しているメーカーのロボットを使って実技講座を受講できます。一口にロボットと言っても、各社によって少しずつ違いがあるので、そこも事前に体験することができます。

— 今後に向けて。

当社は学科と実技講習の両方を実施し、学科のみをオンデマンドで受講したいという方も大歓迎です。例えば遠方の方で、学科は当社で、実技は近隣の別のところで受講しても、それぞれに修了証が発行されます。商社の営業担当のように、ロボットの知識は学びたいが実技までは必要ないという方も受講いただけます。また、学生にもっとロボットと安全を知ってもらうため、価格を抑えたアカデミックプラン等を整備して高校や高専、専門学校、大学などに展開も考えています。

製造現場からケガと事故をなくすことを目指し、特別教育を通じて安全に対する考えを広めていきます。

# 人とロボット 共存・協働時代の本格化に向けて

## 増える特別教育のオンライン化

あらゆる機械は使い方を間違えると危険な凶器となり、人の命・安全を脅かす。だからこそ免許制度や教育によって正しい知識と技術を学んでから使うことが許される。自動車も運転免許がなければ運転することができない。これはロボットも同様で、ロボットの教示 (ロボットティーチング) と検査は、国が定めた特別教育を受講してからでないと行うことはできない。そんな特別教育もデジタル化やリモートワークの社会的な流れに乗り、オンラインで受講することが可能になり、とても便利になっている。

### ロボットの特別教育とは？

産業用ロボットの特別教育とは、産業用ロボットの教示や検査業務に携わる人が受講する安全や衛生に関する教育のこと。使う前にロボットに動きを教え込む教示作業 (ロボットティーチング) を対象にしたものと、ロボットの使用中に調整や修理、メンテナンスをする検査作業の2種類がある。

ロボットメーカーやロボットSIer、ロボット関連サービス、各県の労働基準協会等が特別教育のコースを提供しており、法律で定められた学科と実技講習を受講すると修了証がもらえ、晴れてロボットの業務に携わることができる。受講料は学科と実技を合わせて3万5000円〜で提供されるケースが多く、最短2日間で修了できる。

### 法律で決まっている特別教育違反すると罰則も

特別教育は法律で定められている義務であり、ロボットを使って事業を行う以上、法律は遵守しなければならない。

「労働衛生安全法」第59条3項では、企業 (事業者) は、自社の社員 (労働者) を、危険性や有害性のある業務を行わせる際には、安全や衛生のための特別な教育をしなければならないと定められている。「労働安全衛生規則」第36条では、危険または有害な業務の中身として49の業務を規定し、産業用ロボットもそのひとつに含まれている。

つまり、企業は産業用ロボットを現場で取り扱う際には、その業務を行う社員に対して特別教育を行う義務があり、該当社員以外にはロボットのティーチングやメンテナンスなどをさせてはいけない。また現場の社員も、特別教育を受けていない場合はその業務を行うことはできないこととなっている。

法律を守らずに事故を起こした場合、当然、罰則がある。万が一これに違反して労働災害や事故を生じた場合、企業と社員両方に罰則が下され、数十万円以上の罰金や懲役、また操業停止や取引停止などの行政処分を受けることもある。

### 特別教育のオンライン化で受講が便利に

特別教育は、前述の通りロボットメーカーやロボットSIer、ロボット関連サービス企業、各県の労働基準協会などが定期的に実施している。ロボット産

業の盛り上がりに合わせて講座数も受講者数も増えてきているが、全国あまねく地域で毎日のように開講している、気軽に受講できるかと言えば、そこはまだ不十分。特にコロナ禍で対面での講座が難しくなっている。

そこで最近増えているのが、特別教育がWEBで受講できるオンライン講座だ。あくまで学科限定ではあるが、自宅や職場にしながら特別教育を受講できるようになってきている。

特にロボットSIerの積極的な取り組みが目立ち、例えば立花エレテックは2021年8月から教示の特別教育について、学科講習をMicrosoft Teamsを使ったオンライン講座とし、実技は東京・中部 (愛知) ・関西 (大阪) の会場から選べるプランを開始。バイナスも同様に学科はTeamsで、実技講習は同社教育センターで行うコースをスタートさせた。松栄テクノも定期開催している教示等の特別教育の学科講座について、会場での受講かZoomでのオンライン受講かを選択できるようにしている。

またヤナギハラメカックスによるロボット支援センター「ロボサポ」でも、教示の特別教育プログラムでオンラインコースを開始。学科はZoomで受講できる。iCOM技研では、教示と検査の両方の特別教育の学科をオンラインで受講可能としている。

さらに日本サポートシステムは、オンラインをさらに一歩進めて「オンデマンド」での特別教育を開始。オンデマンドならいつでも再生できるので、例えば仕事が落ち着くタイミングや休憩など時間の隙間での視聴であっても合計で法定時間を超えれば修了証が発行される。オンデマンドなので巻き戻して再生したり、繰り返し見ることができ、より深い学びを提供できるとしている。

### ロボットを扱える技術者を増やすためのさらなる環境整備を

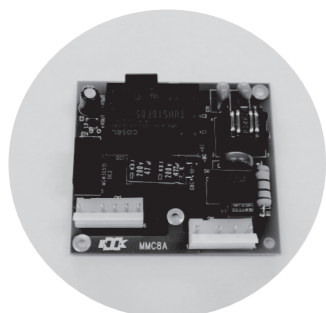
いずれのケースでも、受講者は会場まで行くことなく自宅や職場等で受講でき、主催者であるロボットSIerも会場の感染対策に追われる心配もなく、お互いにとってWIN-WINな取り組みだ。

今後さらにロボット導入が進んでいくと、導入した現場を主体としてロボットを動かす、保守メンテナンスというケースは増えてくるのが予想され、特別教育に対するニーズと重要性は高まるばかり。ロボット業界には、これまで以上にオンラインで特別教育の学科が手軽に受講できる仕組みづくりと、実技を受講できる場所の整備と増加が望まれる。

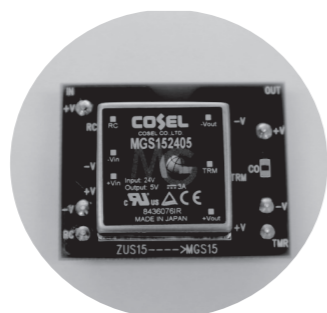
### オンラインで特別教育が受けられる講座一覧

|                |             |   |
|----------------|-------------|---|
| 株式会社デンソーウェーブ   | ロボットスクール    | <a href="https://www.denso-wave.com/ja/robot/support/service/">https://www.denso-wave.com/ja/robot/support/service/</a> |
| 株式会社立花エレテック    | 立花ロボットスクール  | <a href="https://www.tachibana.co.jp/robot-school/">https://www.tachibana.co.jp/robot-school/</a>                       |
| 株式会社ヤナギハラメカックス | ロボサポ        | <a href="https://robotics-supportcenter.com/program/">https://robotics-supportcenter.com/program/</a>                   |
| 松栄テクノサービス株式会社  |             | <a href="https://www.shoeitechno.co.jp/event">https://www.shoeitechno.co.jp/event</a>                                   |
| 株式会社バイナス       | BYNAS教育センター | <a href="https://bynas.com/2021/06/02/onlineerobottraining-2/">https://bynas.com/2021/06/02/onlineerobottraining-2/</a> |
| iCOM技研株式会社     | ロボットスクール    | <a href="https://www.icom-giken.com/school/course1/">https://www.icom-giken.com/school/course1/</a>                     |
| 日本サポートシステム株式会社 | ロボデミー       | <a href="https://jss1.jp/robodemy/">https://jss1.jp/robodemy/</a>   |

# お客様の「困った」から製品が生まれます



COSEL MMC8 シリーズ 相当品



COSEL ZUS/ZUW シリーズ 相当品



鹿児島工場  
わたしたちにお任せください

POWERED  
www.powered.jp

COSEL 商品登録 1000 点以上オリジナル製品も販売中!  
在庫品は即日出荷可能



部品調達から実装まで一括管理



日昭無線株式会社  
Nissin Musen Co., Ltd

お問い合わせ: 企画開発課 TEL: 03-3255-6693  
東京都千代田区外神田 2-13-1

[www.nmk.co.jp](http://www.nmk.co.jp)



全国主要ロボットSier、FA・自動化設備メーカー便覧

「ロボット導入、自動化」相談相手は事前に確保

2020年以前から人手不足による自動化需要は盛んだったが、コロナ禍を経てリモートワークや非接触、3密防止など働き方と人の意識が変わり、そうした現場に有効なものとしてロボットへの期待が高まってきた。ロボットを導入したいという企業は急激に増加しており、その成否の鍵を握るのが、ロボットをシステムとして仕様がどうなるかを事前に立て付ける「ロボットシステムインテグレーター(ロボットSier)」だ。

Table with 3 columns: 社名, URL, 所在地. Lists various companies across different regions like 北海道, 東北地方, 関東地方, etc.

Table with 3 columns: 社名, URL, 所在地. Lists various companies across different regions like 関東地方, 甲信越地方, 東海地方, etc.

Table with 3 columns: 社名, URL, 所在地. Lists various companies across different regions like 東海地方, 北陸地方, 関西地方, etc.

2022国際ロボット展 INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022

ロボットがつなぐ人に優しい社会

Event details including dates (March 9-12 and March 1-18), venue (Tokyo Big Sight), and online options.

本展示会は完全登録制です。入場登録はこちらから!!

二年に一度、世界最大級のロボット・トレードショー

過去最大規模の開催! 615社 3,227小間





# 2022国際ロボット展

3月9日(水)~12日(土)  
会場:東京ビッグサイト



今回の国際ロボット展は、「ロボットがつなぐ人に優しい社会」をテーマに、615社・団体(3227小間)が出席する。前回に比べ、社数は22社少ないが、小間数は167小間増えている。このうち海外からは49社288小間(前回95社389小間)。

用途が拡大している産業用ロボットの最新システムや関連機器の展示のほか、コロナ禍でも活躍するサービスロボットも多数展示される。さらに、今回新たに「部品供給装置ゾーン」「マテハン・ロボットゾーン」が新設され、パートナー企業の供給システムや物流業界で活躍する最新のロボットシステムも展示される。

ゾーンの小間数は「産業用ロボットゾーン」が最も多く、2774小間(前回2790小間)。「サービスロボットゾーン」が479小間(同551小間)、新設のマテハン・ロボットゾーン183小間、部品供給装置ゾーン31小間(併催企画ゾーン260小間(前回130小間)となっている)。

## 615社・団体出展 海外から49社

世界最大級のロボットトレードショー「2022国際ロボット展(IREX2022)」(主催:日本ロボット工業会、日刊工業新聞社)が、3月9日(水)~12日(土)の4日間、東京ビッグサイトの東1~8ホール/西3・4ホールで開催される。また、リアル会場への来場が難しい方のため、初のオンライン展示会「IREX ONLINE」が、3月1日(火)~18日(金)の予定で開催されている。開催時間は午前10時~午後5時。入場料000円(入場登録者、中学生以下は無料)。

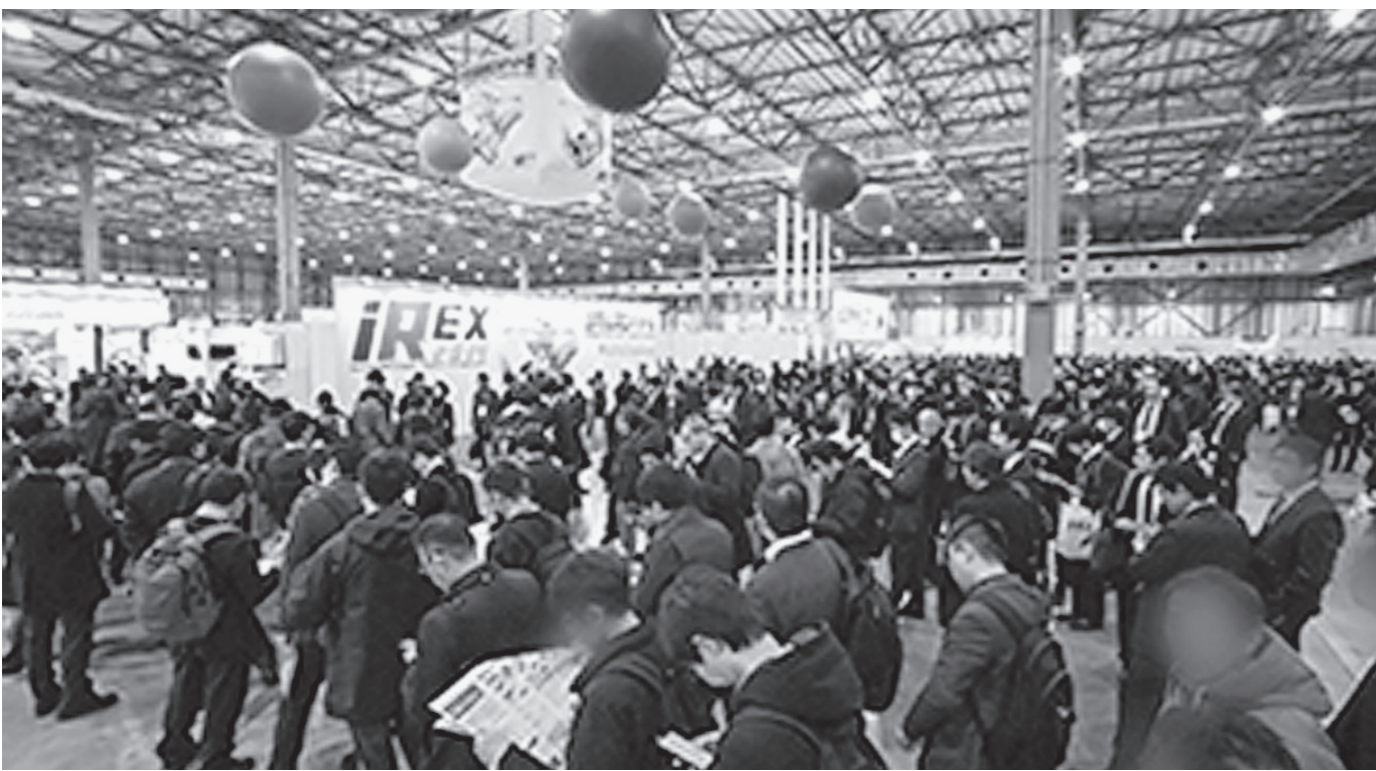
# 「部品供給装置」「マテハン・ロボット」 2ゾーン新設

## ロボットがつなぐ人に優しい社会

### 現場で活躍する 最新技術を紹介

広い用途に対応した「産業用ロボットゾーン」では、産業用ロボットが従来の自動車や半導体業界での利用から、食品、物流、医療分野への導入が拡大し、ロボットによる自動化と生産性の向上が加速している状況を紹介。今回から新設の「部品供給装置ゾーン」「マテハン・ロボットゾーン」では、パートナー企業の最新技術や物流現場で活躍するロボットを展示。

「サービスロボットゾーン」では、コロナ禍でも活躍する協働ロボットやDX(デジタルトランスフォーメーション)、及びデジタルトランスフォーメーションに関するロボットやソリューションの展示も行う。紹介。



また、21年に開催された「World Robot Summit(WRS)」(主催:経済産業省、NEDO)の企画エリアでは、競技会に参加した優秀チームによる競技会モーター操作体験を行う。

併催企画では、複数のロボット競技会や展示を開催する。

西4ホールでは、一般の来場者にも人気の「つなぐ」をテーマとする「国際ロボット展」を拡大し、最新レトリの試乗体験のほか、最終日には複数のロボット競技会を開催。子供から大人まで幅広く楽しめる体験企画となっている。

「第9回ロボット大賞」受賞者合同展示が東3ホール内で行われる。ロボット大賞の受賞ロボットの展示・実演で、産業用からサービス用まで多分野で活躍する最新のロボットに触れることができる。

## WRS優秀チームの競技デモ併催



### 初のオンライン 展示会93社出展

一方、3月1日(火)~18日(金)まで開催の初のオンライン展示会「IREX ONLINE」には、93社が出展している。インターネットの利点を活かして、リアル会場の会期中はもともと、会期前後でもオンライン出展者のWeb展示やウェビナー配信など、どこからでも24時間アクセス可能。オンライン会場での出展者・講演もあり、見どころ満載で開催している。

なお、会期中は併催事業として、各種セミナー(無料/有料)やフォーラムも連日開催予定となっている。とくに出展者セミナーには、34社・団体が講演を予定している。

「KOKOKARA Fair」は、新しいイベントを盛りだくさんとした企業や、ニースマチックを求めている企業、それらをサポートする団体などが出展。

「グッドファクトリーショップ」は、日本のモノづくりの技術と知恵、センスとギミックが詰め込まれた、「グッド」なmade in 工場の商品を紹介するショップ。

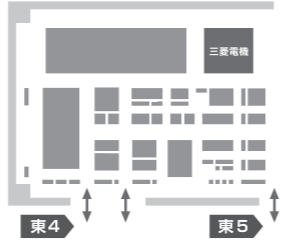
## ロボティクスで ものづくりのDXを 理想のカタチに



### 2022国際ロボット展 IREX<sup>®</sup> INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022

2022 国際ロボット展の三菱電機ブースでは、「ロボティクスで、ものづくりのDXを理想のカタチに」をテーマに、最新のロボットや、先端技術を組み合わせたスマートファクトリーを展示し、ものづくりのDXによる新たな価値をご提案します。

2022.  
会期 **3.9**(水) ▶ **3.12**(土) 10:00 ~ 17:00  
会場 東京ビッグサイト 東5ホール 小間番号 **E5-11**



#### オンライン会場

2022.  
オンライン会期 **3.1**(火) ▶ **3.18**(金) 「2022国際ロボット展」はオンライン展示会を併催します!

#### 三菱電機特設ウェブサイト

「2022国際ロボット展」リアル展示会と連動した豊富なコンテンツを限定公開!

- オンライン展示
- バーチャルデモ
- オンラインセミナー





# 2022国際ロボット展

## INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022

### ロボットがつなく人に優しい社会

2022年  
リアル会場 会期 **3月9日(水)→12日(土)**  
10:00-17:00

会場 **東京ビッグサイト**  
東1~8ホール/西3・4ホール

2022年  
オンライン会場 会期 **3月1日(火)→18日(金)**

本展示会は**完全登録制**です。  
入場登録はこちらから!!

入場料:1,000円 ※入場登録者、中学生以下は無料

主催 **日本ロボット工業会** Japan Robot Association **50** ANNIVERSARY **日刊工業新聞社**

公式Webサイト <https://biz.nikkan.co.jp/eve/irex/>

お問い合わせ先 **日刊工業新聞社** イベント事業部 E-mail: info-irex@media.nikkan.co.jp



© UDAGAWA YASUHIRO 1998



2022年  
発売予定

## NearFi カプラ

### 非接触でイーサネット通信と給電

NearFi Technology<sup>®</sup>  
Designed by Phoenix Contact



EtherNet/IP



EtherCAT



- ◆ 近距離、非接触でイーサネット通信と給電を同時に実現
- ◆ 独自のNearFi Technologyにより、遅延の無いリアルタイム双方向通信を達成
- ◆ コネクタの非接触化でメンテフリーに
- ◆ 移動体、回転体、クリーンルーム内機器とのやりとりにも最適

## 2022国際ロボット展 に出展します

会期:2022年3月9日(水)~12日(土)  
会場:東京ビッグサイト  
ブース番号: E5-22 (東5ホール)

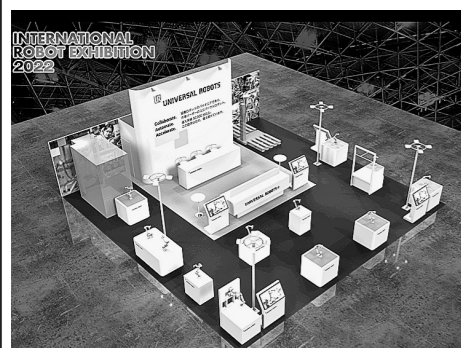
[www.phoenixcontact.co.jp](http://www.phoenixcontact.co.jp)

フエニックス・コンタクト株式会社

◎ PHOENIX CONTACT 2022 横浜支店 東京支店 さいたま支店 東北支店 北陸支店 静岡支店 名古屋支店 大阪支店 京都支店 広島支店 福岡支店  
045-471-0030 03-5835-3885 048-631-3371 022-226-8890 076-210-4360 054-202-6324 052-589-3810 06-6350-2722 075-325-5990 082-568-1664 092-418-2030

### ユニバーサルロボット

#### 協働ロボットURシリーズ



### 11種類のアプリケーションデモ実施

ユニバーサルロボット(UR)は、可搬重量やアーム長の異なる11種類のロボットを備え、11種類のアプリケーションデモを実施する。このうち7種類は初披露となる。

URロボットとラック&プロテクトスを使用する高機能ロボット「UR10」を備え、様々なアプリケーションデモを実施する。UR10は、様々なアプリケーションに活用できるだけでなく、ばら積みピッキングからプラサワー工業製工作機械へのワーク投入や、樹脂成形品の仕上げ加工をイメージした関東製作所による...

<https://www.universal-robots.com/ja/>

### 三菱電機

#### 理想のものづくりソリューション提案



### ロボティクスで最適化実現

三菱電機は、DXを推進のカタチに「ロボット」を中心としたスマートファクトリーを実現する各種ソリューションを、リアル展(小間番号: E5-11)とオンライン展に出展し、訴求する。

<https://www.mitsubishielectric.co.jp/fa/compass/exhibition/2022/irex2022/index.html>

### フエニックス・コンタクト

#### 各種コネクタ、ブレーカ、無線機器



### ロボット用ソリューション

フエニックス・コンタクトは、国際ロボット展で、各種基板用・制御用コネクタ、端子台をはじめ、電源、無線機器を含むネットワーク機器を紹介。小間番号は東5ホールE5-22。

<https://www.phoenixcontact.com/ja-jp>

### Team Cross FA

#### 靴箱ピッキング



### 総合力でロボット実装

製造業のDXから生産ラインの開発・実装までを総合的に支援する「コンソーシアム・Team Cross FA」は、2022年国際ロボット展で、幹事企業であるフィスエイ・コムを中心に、多くの子機開発・製作に協力するロボットシステムインテグレーションの総合力を訴求する。

<https://connected-engineering.com/>

## 国際ロボット展 主要各社製品紹介

## 自動化×デジタルで 工場の「人手不足」を解決

業界の共通課題を自動化とシミュレーション技術で解決し、生産性を向上

## シミュレーション技術を活用した 中小食品製造業の生産性向上支援プログラムの 取り組みとなります

令和元年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金(ビジネスモデル構築型)(2次公募)採択プロジェクトとしてスタート。生産性向上に寄与する共通課題を複数抽出、製造業における3000件を超える自動化、効率化支援実績をもとに自動化構想設計、シミュレーションによる効果検証を実証するプロジェクトです。2022年5月の成果発表を目指し、一般社団法人日本惣菜協会会員企業とともに推進を予定しております。

「自動化」についてお悩みの方はお気軽にご連絡ください(担当:高見・尾山) メール [rd@fa-products.jp](mailto:rd@fa-products.jp) お電話 03-6453-6761(代表)



#### 会社情報

商号 株式会社FAプロダクツ 所在地 東京都港区新橋5-35-10 新橋アクセス2F  
HP <https://fa-products.jp/>

#### 本プロジェクト共同事業者(Team Cross FA幹事企業)

株式会社オフィス エフエイ・コム、日本サポートシステム株式会社、ロボコム株式会社



